

蔵王山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

< 噴火予報（活火山であることに留意）が継続 >

蔵王山では、6 日 16 時 08 分に継続時間のやや長い火山性微動が発生しました。傾斜計¹⁾では微動発生に先行してわずかな南東上がりの変化がみられ、微動終了後に元に戻りました。微動の発生前後において、地震活動や噴気活動に変化はなく、火山活動に活発化の兆候は認められません。

長期的にみると、2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、火山活動はやや高まった状態にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図 1 ～ 3）

6 日 16 時 08 分に、継続時間約 20 分、最大振幅（上下成分） $5.2 \mu\text{m/s}$ の火山性微動が発生しました。火山性微動継続中に、火山性地震が 2 回発生しました。その後地震は発生していません。火山性微動が観測されたのは、1 月 5 日以来です。

・地殻変動の状況（図 2）

坊平観測点の傾斜計で、微動発生に先行してわずかな南東（山頂の南側）上がりの変化がみられましたが、微動終了後元に戻っています。GNSS²⁾による山体及びその周辺の地殻変動観測に特段の変化はありません。

・噴気など表面現象の状況

遠刈田温泉（山頂の東約 13km）及び上山金谷（山頂の西約 13km）に設置してある遠望カメラでは、御釜や想定火口域に噴気は観測されていません。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

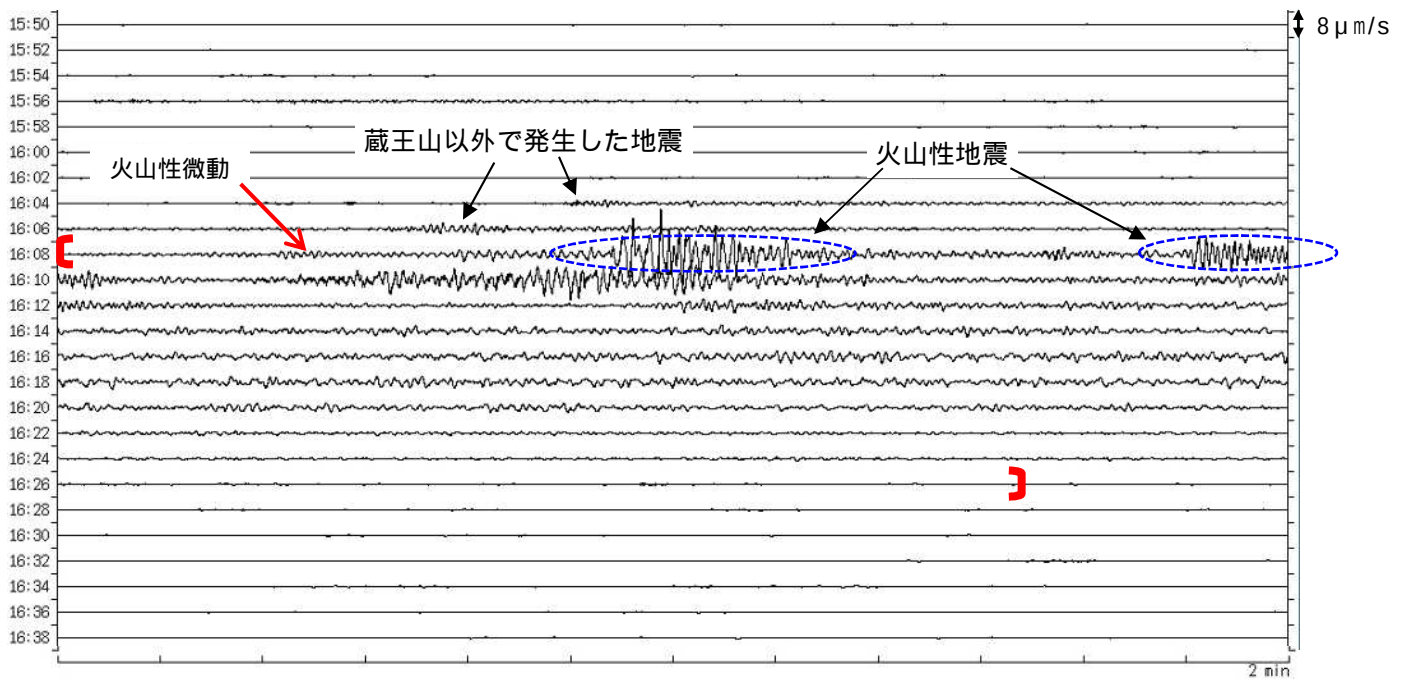


図1 蔵王山 坊平観測点（上下成分）での火山性微動の発生状況

(2016 年 3 月 6 日 15 時 50 分～16 時 40 分)

- ・ [] は火山性微動を示します。最大振幅は $5.2 \mu\text{m/s}$ 、継続時間は約 20 分です。
- ・ 火山性微動継続中に、火山性地震が 2 回発生しています。

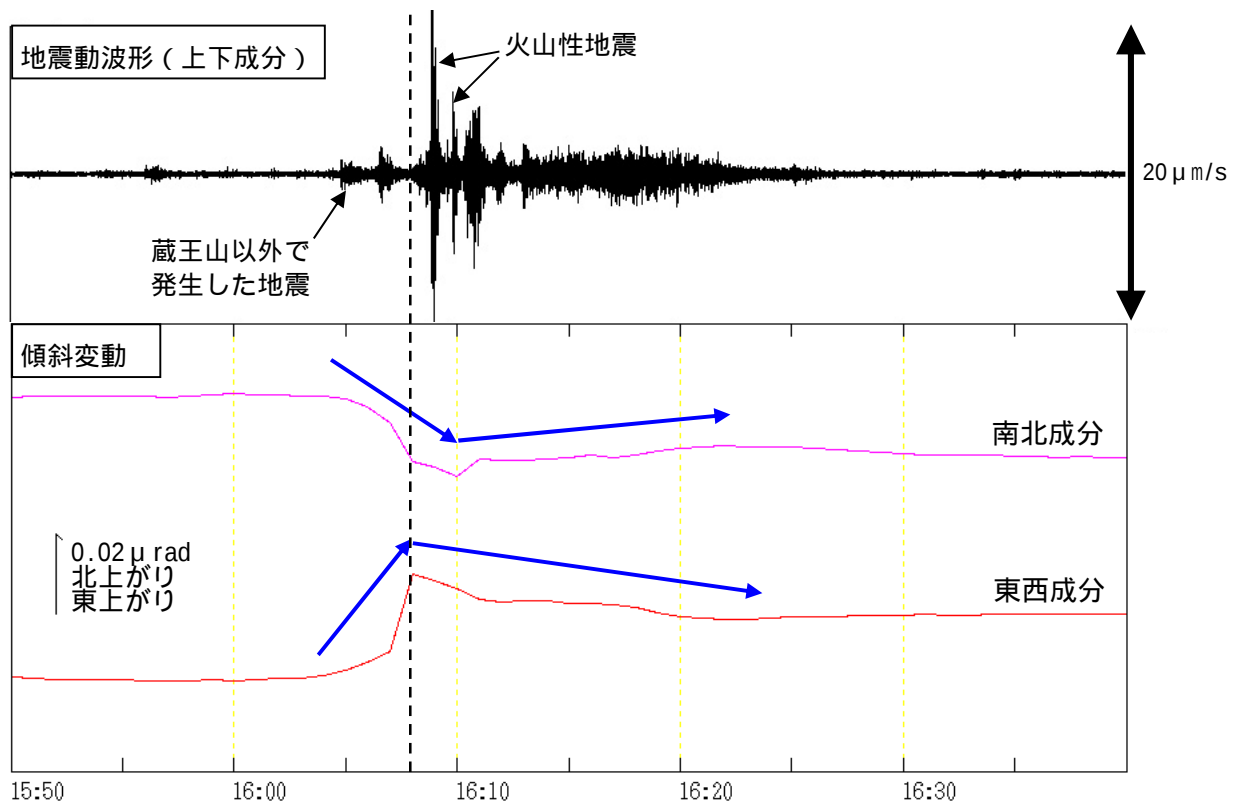


図2 蔵王山 坊平観測点での火山性微動波形および傾斜変動

(2016 年 3 月 6 日 15 時 50 分～16 時 40 分)

- ・ 黒破線は火山性微動の発生時を示します。最大振幅は $5.2 \mu\text{m/s}$ 、継続時間は約 20 分です。
- ・ → は傾斜計の変化傾向を示します。微動発生に先行してわずかな南東上りの変化がみられましたが、微動終了後に元に戻りました。

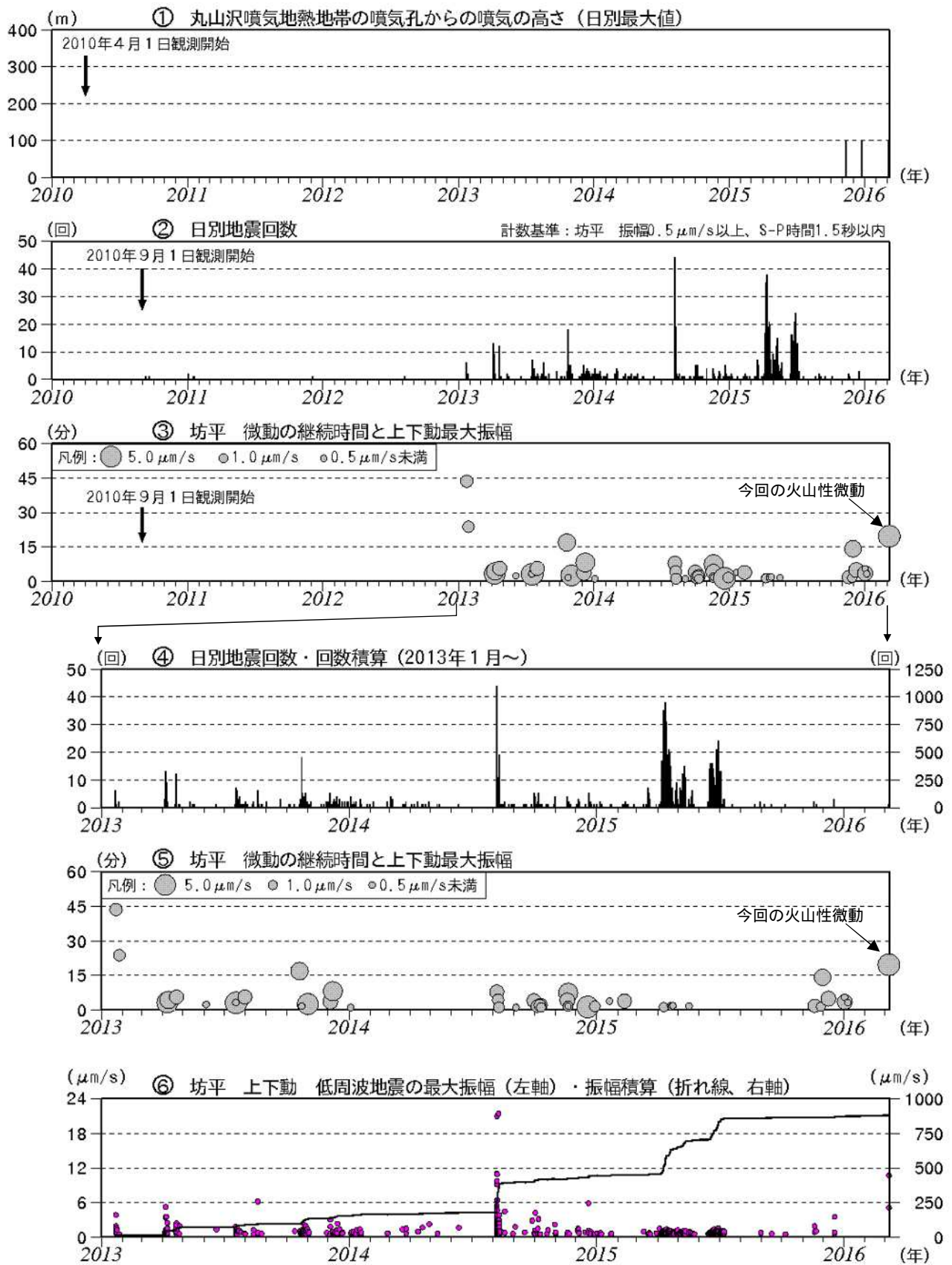


図3 蔵王山 火山活動経過図 (2010年9月~2016年3月7日)

・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

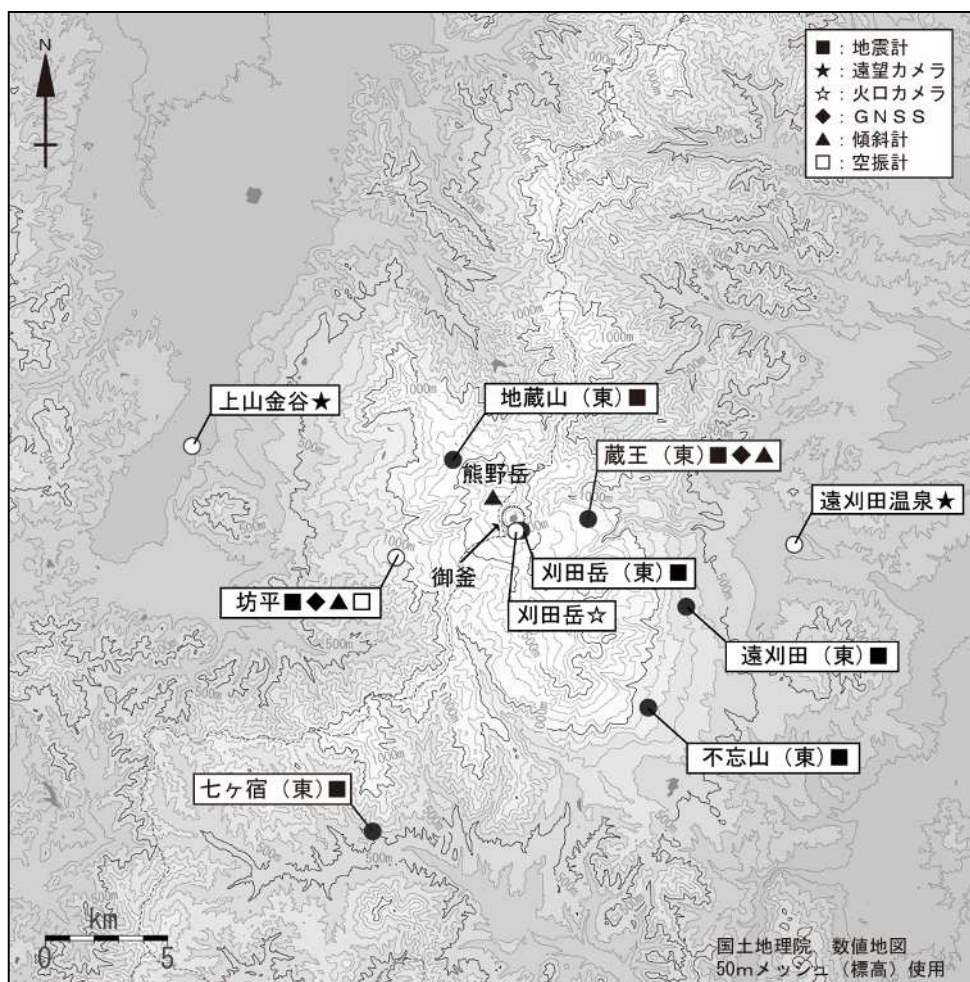


図4 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東)：東北大学